

## 平成17年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 1 平成17年4月1日報告分以降、報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤51件、血漿分画製剤4件である。  
輸血用血液製剤の内訳は、

(1) B型肝炎報告事例：	24
(2) C型肝炎報告事例：	16
(3) HIV感染報告例：	0
(4) その他の感染症報告例：	11
- 2 B型肝炎報告事例
  - (1) 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）が陽転した事例は18例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は4例）。
  - (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は3例。
  - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例（劇症化例含む。）である。
- 3 C型肝炎報告事例
  - (1) 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）が陽転した事例は13例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は5例）。
  - (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は1例。
  - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例。
- 4 その他感染症報告事例
  - (1) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例である。
  - (2) サイトメガロウイルス感染疑い事例は2例である。
  - (3) 輸血後に死亡（原疾患による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例である。
- 6 血漿分画製剤での報告事例  
新規4例については、原料血漿のNAT陰性、ウイルスクリアランスも確認している。フィブリノゲン加第13因子製剤（HCV Genotype 1a疑い症例）については、別途報告。

輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受信日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/4/5	2005/4/19	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/02	HBsAg(-) HBcAb(+) (03/10)	HBsAg(+) HBcAb(+) (05/03)	陽性(輸血後)	NAT(-)			10単位	1/1	1本の原料血漿を製造。	1本の原料血漿を製造。原料血漿は使用済み
2005/4/7	2005/4/19	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	30	骨折	B型肝炎	02/03	HBsAg(-) (02/03)	HBsAg(+) HBcAg(+) HBcAb(-) HBcAb(-) (04/12) HBsAg(-) HBcAb(-) HBcAb(+) HBcAb(+) (05/03)	陽性(輸血後) 04/12 陰性(05/03)	NAT(-)		4単位	1/2	2本の原料血漿を製造。	原料血漿はすべて使用済み。	
2005/4/8	2005/4/19	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/07、/08	HBsAg(-) (04/08)	HBsAg(+) HBcAb(-) HBcAg(+) HBcAb(+) HBcAb(+) (05/04)	陽性(輸血後)	NAT(-)			4単位	1/2	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は1本は確保済み	原料血漿は1本は使用。新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/4/13	2005/4/28	新鮮凍結人血漿	男	60	消化器腫瘍	B型肝炎	05/01	HBsAg(-) (05/01)	HBsAg(+) HBcAb(-) HBcAg(+) HBcAb(+) HBcAb(+) (05/04)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)		劇症肝炎で死亡。輸血との関連性なく、院内感染との医療機関のコメント有り。	8単位	1/4	4本の新鮮凍結血漿、4本の赤血球MAPを製造。	新鮮凍結血漿、赤血球MAPとともにすべて医療機関へ供給済み。
2005/4/14	2005/4/28	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	B型肝炎	02/01~ 05/04 02/03~ 05/03 04/12 05/04	HBsAg(-) (01/10) HBsAg(-) HBcAb(-) (03/08)	HBsAg(-) HBcAg(+) HBcAg(+) HBcAb(-) HBcAb(-) (05/04)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	(追加情報)10本の原料血漿、10本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿全て使用済み、新鮮凍結血漿全て医療機関へ供給済み。	46⇒70単位 115⇒135単位 2単位 10単位	6/35⇒ 15/49	32本の原料血漿、18本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は31本確保済み、新鮮凍結血漿はすべて確保済み。	原料血漿1本使用	
2005/4/14	2005/4/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	90	消化器疾患	B型肝炎	03/01	HBsAg(-) (03/01)	HBsAg(+) (04/03)(04/09)(05/02) HBcAg(+) HBcAb(-) HBcAb(+) (05/02) HBcAb(-) (05/02)	陽性(輸血後)	NAT(-)	05/02/21死亡(全身衰弱、本剤との関連性なし)	4単位	2/2	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造	原料血漿すべて使用済み。新鮮凍結血漿医療機関へ供給済み。	
2005/4/19	2005/5/6	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	50	泌尿器腫瘍	B型肝炎	05/01	HBsAg(-) HBcAb(-) (04/12)	HBsAg(+) (05/04)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	27本NAT(-) 1本NAT(+)	プラズマプロテインフラクション 250ml	片割れ製剤受血者情報:HBV-DNA(+)となった当該輸血用血液と同一の採検番号の製剤として、1本の原料血漿、1本の赤血球MAPが製造されており、原料血漿は使用済み、赤血球MAPは5本確保済み。	22単位 6単位 28単位	2/28	21本の原料血漿、12本の新鮮凍結血漿、14本の赤血球MAPを製造。原料血漿は14本確保済み。新鮮凍結血漿は5本確保済み。	原料血漿7本使用済み。新鮮凍結血漿7本供給済み。赤血球MAPはすべて使用済み。
2005/4/20	2005/5/6	人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	10	小児腫瘍	B型肝炎	04/11 04/11 05/02~/03	HBsAg(-) (04/04)(04/11)(05/01) HBsAb(-) (05/01)	HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+) (05/04)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	8本NAT(-) 1本NAT(+)		片割れ製剤受血者情報:HBV-DNA(+)となった当該血液と同一採検番号の製剤として原料血漿、新鮮凍結血漿各1本ずつあるが確保済み。	8単位 5単位 40単位	4/9	8本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿はすべて確保済み。	
2005/4/28	2005/5/13	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	80	泌尿器疾患	B型肝炎	02/10	HBsAg(-) (02/10)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (03/11)	陰性(輸血後)	NAT(-)		(次回献血におけるNATスクリーニング陽性血有。当該献血者の個別NAT(-)。同一採検番号製剤は1本の原料血漿(使用済み)、1本の赤血球MAP(減損廃棄済み)。	4単位 4単位	3/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿、1本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿は1本、赤血球1本は医療機関へ供給済み。

20

2005/5/10	2005/5/23	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	04/08~ /12、 04/08~ 05/01	HBsAg(-) HBcAb(-) (04/08)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/04)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)	ヘビロン、アルブミン	肝炎所見は認めず。5/10急性白血病再発、敗血症、肺炎により死亡。輸血との関連性は担当医は否定。	38単位 100単位	16/29	28本の原料血漿、8本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿19本は確保済み。新鮮凍結血漿1本は確保済み。9本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿、4本の赤血球MAPを製造。原料血漿の5本は確保済み。新鮮凍結血漿は確保済み。7本の原料血漿を製造。全て確保済み。	原料血漿9本使用。新鮮凍結血漿7本は医療機関へ供給済み。
2005/5/12	2005/5/25	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	70	心疾患	B型肝炎	05/02	HBsAg(-) (05/02)	HBsAg(+) (05/05)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	NAT(-)			4単位、 2単位、 8単位、 20単位	2/9	原料血漿4本は使用済み。赤血球MAPはすべて医療機関へ供給済み。	
2005/5/12	2005/5/25	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	30	血液疾患	B型肝炎	05/03	HBsAg(-) (05/02、/04)	HBsAg(+) (05/05)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	NAT(-)			80単位	2/7	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿はすべて使用済み。新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/5/31	2005/6/14	人赤血球濃厚液	女	50	外傷	B型肝炎	04/08	HBsAg(-) (04/08)	HBsAg(-)、 HBsAb(+) 、 HBcAb(+) (05/04)	陰性(輸血後)	NAT(-)			4単位	0/2	25本の原料血漿、9本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は22本確保済み。新鮮凍結血漿は5本確保済み。	原料血漿はすべて使用済み。新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/6/6	2005/6/17	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/10- 05/04 03/05- 05/03	HBsAg(-) (04/01) (04/07) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (05/03)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(+) HBsAb(+) HBcAb(-) (05/05)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	NAT(-)			34単位 80単位	19/26	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿はすべて使用済み。新鮮凍結血漿は4本医療機関へ供給済み。
2005/6/7	2005/6/20	人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	50	血液腫瘍	B型肝炎	01/09	HBsAg(-) (01/04)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) (05/05)	陽性(輸血後)	NAT(-)	ポリグロビンN	兄よりHBsAg(-)同種末梢血幹細胞移植01/09	20単位	1/2	2本の原料血漿を製造。	全て使用済み。
2005/6/7	2005/6/20	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	20	血液腫瘍	B型肝炎	04/10- 05/02 04/09- 05/02	-	HBsAg(-) (04/12) HBsAb(-) HBcAb(-) (05/01) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) HBeAg(-) HBsAb(-) IgM-HBcAb(-) (05/05)	陰性(輸血後)	NAT(-)	ベニロン	弟より同種幹細胞移植05/02	20単位 180単位	21/28	28本の原料血漿、7本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	新鮮凍結血漿はすべて供給済み。
2005/6/8	2005/6/20	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	40	循環器疾患	B型肝炎	04/09- 04/11 04/09 04/09	-	HBsAg(-) (05/03) HBsAg(+) HBsAb(-) 、 HBeAg(-) HBsAb(+) IgM- HBcAb(+) (05/05)	陽性(輸血後)	NAT(-)			62単位 60単位 114単位	51/91	90本の原料血漿、19本の新鮮凍結血漿、56本の赤血球MAP、1本の洗浄赤血球を製造。原料血漿は23本確保済み。新鮮凍結血漿は3本確保済み。	原料血漿は67本使用済み。新鮮凍結血漿は16本は医療機関へ供給済みで、赤血球MAP及び洗浄赤血球はすべて医療機関へ供給済み。
2005/6/10	2005/6/27	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 白血球除去赤血球液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	B型肝炎	04/06-10、 04/05-11、 04/05-06	HBsAg(-) (03/12)	HBsAb(-) HBcAb(+) (04/06) HBsAg(-) HBsAb(-) (04/08) HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(+) IgM- HBcAb(+) 、 HBV-DNA(+) (05/04)	陽性(輸血後)	保管後検体20本についてHBV-NAT検査予定		10単位 120単位 6単位	10/20	調査中	調査中	

2005/6/10	2005/6/27	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	40	血液腫瘍	B型肝炎	04/10-05/04	HBsAg(-) (04/10)	HBsAg(-)、 HBeAg(+) HBeAb(+) HBsAb(+) HBeAb(+) IgM-HBcAb(+) 、 HBV-DNA (+)(05/05)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	38本NAT(-) 1本NAT(+)	片割れ製剤受血者の情報 :同時製造製剤なし	24単位 10単位 240単位	22/39	37本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は2本は確保済み。	新鮮凍結血漿は2本は医療機関へ供給済み。
2005/6/17		人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	-10	血液腫瘍	B型肝炎	03/12	-	HBsAg(-) (03/12),(04/08),(05/01) HBV-DNA(+) (05/05) HBsAg(-) (05/08)	HBV関連検査実施予定	保管検体42本についてHBV-NAT関連検査予定	ベニロン	24単位 142単位 1単位 10単位	23/42	42本の原料血漿、1本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は使用有無を調査中。赤血球MAPは医療機関へ供給済み。
2005/6/17	2005/6/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	泌尿器疾患	B型肝炎	04/06	-	HBsAg(-) (04/06) HBsAg(+) (05/02) HBsAg(+), HBeAb(+), HBeAg(+), HBeAb(-) IgM-HBcAb(-) (05/05)	陽性(輸血後)	NAT(-)		4単位	1/2	1本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿はすべて医療機関へ供給済み。
2005/6/22	2005/7/6	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	-10	血液疾患	B型肝炎	00/09	-	HBsAg(+) (05/06)	HBV関連検査実施予定	保管検体3本についてHBV-NAT関連検査予定	ヴェネグロブリンIH	6単位	2/3	調査中	調査中
2005/6/23	2005/7/6	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	50	消化器腫瘍	B型肝炎	05/02	HBsAg(-) (04/12)	HBsAg(-) (05/04) HBsAg(+) (05/04)、 HBsAg(+) (05/06)、 HBsAb(+), HBeAb(+), HBeAg(+), HBeAb(+), IgM-HBcAb(+)	HBV関連検査実施中	NAT(-)	7/31にB型肝炎で死亡、剖検なし。因果関係は不明とのコメント。(個別報告事例)	1単位 7単位 30単位	5/20	17本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿、15本の赤血球MAPを製造。原料血漿10本は確保済み。新鮮凍結血漿3本は確保済み。	原料血漿7本は使用済み。新鮮凍結血漿は3本が医療機関へ供給済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
2005/6/30	2005/7/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	呼吸器疾患	B型肝炎	05/02	HBsAg(-) (05/02)	HBsAg(+) 、 HBeAb(-) (05/06)	HBV関連検査実施予定	保管検体7本についてHBV-NAT関連検査予定		14単位	0/7	調査中	-

輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血率	同一供血者製剤確保率	同一供血者製剤使用率
2005/4/4	2005/4/19	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	消化器疾患	C型肝炎	04/03	HCV-Ab(-) (04/03)	HCV-Ab(+) (04/05)	陽性(輸血後)	NAT(-)			6単位	1/3	3本の原料血漿を製造。	原料血漿すべて使用済み
2005/4/13	2005/4/26	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	90	泌尿器疾患	C型肝炎	04/06	HCV-Ab(-) (04/03)	HCV-Ab(+) (05/04)	陰性(輸血後)	NAT(-)			5単位 2単位	3/7	3本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿、5本の赤血球MAPを製造。	原料血漿はすべて使用済み。新鮮凍結血漿、赤血球MAPはすべて医療機関へ供給済み
2005/4/13	2005/4/26	人赤血球濃厚液	男	80	消化器腫瘍	C型肝炎	04/05、06、08	HCV-Ab(-) (04/05)	HCV-Ab(+) (04/10)(04/11)(05/02) HCV-Ab(+) HCVコア Ab(+) (05/04)	陰性(輸血後)	NAT(-)		大腸癌により死亡(5/1)。輸血との関連性は担当医は否定。	10単位	6/7	7本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿、1本の濃厚血小板を製造。	原料血漿はすべて使用済み。新鮮凍結血漿はすべて医療機関へ供給済み。濃厚血小板は減損破損済み。
2005/4/28	2005/5/13	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	~10	消化器疾患	C型肝炎	04/11,12	HCV-Ab(-) (04/11)	HCV-Ab(+) (05-03)	陰性(輸血後)	NAT(-)	ボルヒール、アルブミン、アンスロピンP、ヴェノH	併用薬剤についてはいずれも製造元より感染に関係はないとの書類入手済み(Dr.)	4単位 2単位 40単位 40単位 2単位	11/18	14本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿、2本の赤血球MAPを製造。原料血漿は全て確保済み。	新鮮凍結血漿は2本、赤血球2本は医療機関へ供給済み。
2005/5/6	2005/5/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	10	消化器疾患	C型肝炎	99/06	HCV-Ab(-) (99/08) HCV-Ab(+) HCV-RNA(-) (05/04)		陰性(輸血後)	NAT(-)			2単位	2/2	2本の原料血漿を製造。	すべて使用済み
2005/5/11	2005/5/23	新鮮凍結人血漿	男	80	脳疾患	C型肝炎	04/10	HCV-Ab(-) (04/09)	HCV-Ab(+) (05/03、04)	陰性(輸血後)	NAT(-)	献血ウエ/グロブリンIH、フミネート		15単位	7/10	2本の原料血漿、8本の新鮮凍結血漿、10本の赤血球MAPを製造。	原料血漿はすべて使用済み。新鮮凍結血漿、赤血球MAPはすべて医療機関へ供給済み。
2005/5/16	2005/5/27	新鮮凍結人血漿	男	90	心疾患	C型肝炎	01/04	HCV-Ab(-) (01/04)	HCV-Ab(+) (05/05)	陽性(輸血後)	NAT(-)			2単位	0/1	1本の原料血漿、1本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は使用済み。赤血球MAPは医療機関へ供給済み。
2005/5/17	2005/5/27	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	血液疾患	C型肝炎	04/04	HCV-Ab(-) (03/10)	HCV-Ab(+) (04/08、04/09、05/05)	陽性(輸血後04/08、04/09) 陰性(輸血後05/05)	NAT(+)		個別報告事例(献血者、受血者ともにGenotype I b(II)一致)	2単位	-	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は確保済み。	新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済みで医療機関へ情報提供したところ、患者は原疾患にて死亡されていた。
2005/5/24	2005/6/7	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	40	泌尿器疾患	C型肝炎	05/01	HCV-Ab(-) (05/01)	HCV-Ab(+) HCV-RNA (+)(05/03)	陽性(輸血後)	NAT(-)		当該患者は前医において04/12~05/01にも輸血受けており、被疑薬として追加。追加分について同一採血番号の原料血漿は全て確保済み。保管検体9本(全部)HCV-RNA(-)	6単位 11単位(追加分)	0/4 4/9(追加分)	3本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿、新鮮凍結血漿すべて確保済み。
2005/5/25	2005/6/7	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	男	40	骨折	C型肝炎	03/07	HCV-Ab(-) (03/07)	HCV-Ab(+) (03/11) (04/11) (05/04) HCV-Ab(+) (05/05)	陽性(輸血後)	NAT(-)			8単位4単位	4/6	6本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿、2本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿、赤血球MAPはすべて医療機関へ供給済み。

2005/6/2	2005/6/14	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 白血球除去人赤血球浮遊液(放射線照射)	男	30	血液腫瘍	C型肝炎	04/11-04/12 04/11-05/03 04/11-05/03 05/02	HCV-Ab(-) (04/11)	HCV-RNA(-) (04/11) HCV-Ab(-) HCV-RNA(+) HCVコアAg(+) (05/04, 05)	陰性(輸血後04/11) 陽性(輸血後05/06)	NAT(-)		6単位 24単位 240単位 2単位	23/40	37本の原料血漿、17本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿はすべて確保済み。新鮮凍結血漿は4本医療機関へ供給済み。13本は確保済み。
2005/6/3	2005/6/17	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	30	ショック	C型肝炎	05/02	HCV-Ab(-) (05/02)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(-) (05/04) HCV-Ab(+) (05/05)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	NAT(-)	05/02に被疑薬とは別に2本院内採血新鮮血を使用。(ドナーはHCV-Ab(-)、HCVコアAg(-))	18単位 20単位 12単位	6/17	17本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿、6本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は6本使用済みで、11本確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
2005/6/6	2005/6/17	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	脳疾患	C型肝炎	04/03、04/04	HCV-Ab(-) (04/03)	HCVコアAb(+) (05/03) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+)	陽性(輸血後)	NAT(-)		4単位	2/3	3本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て供給済み。
2005/6/6	2005/6/17	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	脳疾患	C型肝炎	05/02	HCV-Ab(-) (05/02)	HCV-Ab(+) HCVコアAg(+)	HCV関連検査実施予定	保管検体3本についてHCV-NAT検査予定		4単位	1/3	3本の原料血漿を製造。	調査中
2005/6/10	2005/6/20	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	泌尿器疾患	C型肝炎	05/04	-	HCV-Ab(-) (05/04) HCV-Ab(+) (05/06)	陰性(輸血後)	NAT(-)		6単位	0/4	4本の原料血漿を製造。	原料血漿は全て確保済み。
2005/6/23	2005/7/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	C型肝炎	04/11	HCV-Ab(-) (04/10)	HCV-Ab(+) (05/02)	HCV関連検査実施予定	保管検体3本についてHCV-NAT関連検査予定		4単位	2/3	3本の原料血漿を製造。	調査中

24

輸血によるその他ウイルス感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受理日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者保管検体	併用血液製剤等	備考	使用単位数	献血者再献血※	同一献血者製剤確保※	同一献血者製剤使用※
2005/6/30	2005/7/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	-10	産科疾患	CMV	05/05	-	IgG-CMV-Ab(+), IgMCMV-Ab(+)(05/06)	-	保管検体1本についてCMV抗体検査予定。	ペニロン		1単位	CMV感染症例のためフォローせず	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	
2005/4/18	2005/4/28	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	-10	小児疾患	サイトメガロウイルス感染症	04/06、04/07	CMV-DNA(-) (04/06)	CMV-DNA(+) 咽頭吸引物培養(+) (04/08)	-	保管検体2本ともCMV抗体(+)			2単位	CMV感染症例のためフォローせず	2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て使用済み。CMV感染症例のためフォローせず	
2005/6/16	2005/6/29	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液	男	40	血液腫瘍	ヒトパルボウイルス	05/05	-	ヒトパルボウイルスB19PCR(+) (05/06)	B19-DNA(+) (輸血後05/06)	保管検体2本についてヒトパルボウイルス関連検査予定 NO.1: B19-DNA(+) B19Ab[IgM](+) B19Ab[IgG](+) NO.2: B19-DNA(-) B19Ab[IgM](-) B19Ab[IgG](-)	B19Ab[IgM](-) B19Ab[IgG](+) (輸血後05/06)		2単位 10単位		2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	

輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者保管検体	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/4/1	2005/4/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	神経腫瘍	細菌感染	05/03	-	院内での血培の結果、グラム陰性桿菌検出	-	同一ロット番号血漿1本で無菌試験結果(-)であった。			2単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み	
2005/5/12	2005/5/25	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液疾患	細菌感染	05/05	院内での血培の結果、Staphylococcus epidermidisが同定された	院内での血培の結果、Staphylococcus epidermidisが同定された	-	同一ロット番号血漿1本で無菌試験適合		医療機関の見解として「カテーテル挿入部から血中に混入したと思われる」とのコメントあり。	2単位	-	1本の原料血漿を製造。確保済み。	
2005/5/24	2005/6/7	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	50	消化器腫瘍	細菌感染	05/05	-	院内での血培の結果、グラム陽性球菌検出。尿培養で細菌(-)	抗血漿タンパク質抗体検査(-)、血漿タンパク質欠損検査(欠損なし)	同一ロット番号血漿2本で無菌試験;適合			4単位	-	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。新鮮凍結血漿は確保済み。	原料血漿確保済み。
2005/4/25	2005/5/9	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器疾患	細菌感染(疑い)	05/04	-	院内にて血培結果(-)	抗血漿タンパク質抗体検査(-)、血漿タンパク質欠損検査(欠損なし)	同一ロット番号血漿2本で無菌試験予定であったが2本とも輸送中時破損のため実施不能。当該被疑薬のセグメントチューブの細菌塗抹試験結果(-)であった。	トロンピン、アモキシシリン、クラリスロマイシン	急性腎不全、死亡例(担当医のコメント:本感染症症例を輸血血液との因果関係において、細菌検査は陰性であったが、輸血との関連は否定できない。)	4単位	-	2本の原料血漿を製造。2本確保	
2005/6/17	2005/6/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	消化器腫瘍	敗血症	05/06	血液培養(-)(05/06)	グラム陰性桿菌(Acinetobacter lwoffii)と同定	-	同一ロット番号血漿2本について無菌試験予定			4単位	-	2本の原料血漿を製造。全て確保済み。	
2005/6/24	2005/7/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	泌尿器疾患	敗血症	05/06	-	院内での血培の結果、klebsiella pneumoniaeが同定された	-	同一採血番号の原料血漿(1本)で無菌試験)予定			2単位	-	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	
2005/6/29	2005/7/12	白血球除去人赤血球浮遊液(放射線照射)	女	70	血液腫瘍	敗血症	05/06	-	院内にて血培結果(+)(05/06)	非溶血性副作用関連検査予定	同一採血番号の血漿で無菌試験予定			2単位	-	調査中	
2005/6/30	2005/7/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	血液疾患	敗血症	05/06	-	院内での血培の結果、Aeromonas sobria が検出された(05/06)	-	同一採血番号の血漿で無菌試験)予定			1単位	-	調査中	

報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	原料血漿・製品NAT検査(再検査・製造時検査の別)	併用血液製剤等	備考
2005/5/10	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	女	-10	川崎病	GNS菌血症	2004/11	-	-	原料血漿及び製品については、陰性	-	献血グロヘニンI	バッチ/ロット番号SSV501
2005/6/10	ヒスタミン加人免疫グロブリン	女	30	季節性アレルギー	B型肝炎	2005/03	-	-	原料血漿及び製品については、陰性	-		バッチ/ロット番号0082, 0086
2005/6/17	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	男	-	ギランバレー	サイトメガロウイルス感染	2005/04-05	-	-	原料血漿及び製品については、陰性	-		バッチ/ロット番号 ssv531,535,536,540
2005/6/23	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	女	70	敗血症	C型肝炎	2005/05	HCV3rd (0.73) (05/03)	HCV3rd(0.29) (05/06)	原料血漿及び製品については、陰性	-	フミネート,赤血球MAP,新鮮凍結血漿 (併用薬情報確認中)	バッチ/ロット番号ssv531,510